

北九州市民の会ニュース

海外で戦争する国づくり許すな！
集团的自衛権行使容認閣議決定は白紙に！



【小倉駅前での署名活動の様子】

安倍内閣は国民多数の反対の声に背を向け、集团的自衛権行使容認を柱とした憲法解釈の「閣議決定」を強行したことに對して抗議と撤回を求めて、北九州地区労連・共同センター・新日本婦人の会など民主団体が集まり、小倉駅前で署名宣伝・シール投票行動（7月2日、5日、12日）を行いました。



【多くの若者が署名に応じてくれました】

軍事を全面否定した9条はそのままに海外での全面的な武力行使を可能にする「憲法解釈」を強行しても、戦争放棄・交戦権の否認を明記した『憲法9条』は生きており、違憲の閣議決定は撤回するしかありません。

憲法は、国民の人権保障のために国家権力

を縛るものです。時の政府が都合よく憲法の中身を変えることは立憲主義を根本的に破壊するものです。

集团的自衛権行使を容認することは、日本がほかの国から攻撃されていないのに、アメリカの戦争に日本の自衛隊を参戦させ、戦場で「殺し、殺される」国になることを意味しています。これまで集团的自衛権が行使され



【シール投票にも多くの方が参加してくれました】

た事例を見ても、アメリカによるベトナム戦争やアフガン戦争など、大国による軍事介入を正当化するために使われてきました。

他の同盟国は集团的自衛権の下でアメリカの戦争に動員され、多数の青年の命が奪われました。このように海外で『殺し、殺される』国にしているのかが問われています。北九州地区労連は『「海外で戦争する国」づくりを許すな、解釈で憲法を壊すな』のこの一点で、労働者・国民的共同のたたかいをまきおこし、安倍内閣の軍事主義復活の野望を打ち砕くために集团的自衛権行使容認の閣議決定を撤回させ、憲法改悪反対のたたかいを前進させるために国民世論をさらにひろげていくことを呼び掛けていきます。

（北九州地区労連ニュース2014年7月号から転載）

平和とくらしを守る北九州市民の会
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
e-mail:koe@siminnokai.com

さよなら原発！北九州連絡会開催

8月4日、金曜行動が100回(7/4)を超えた、「さよなら原発北九州連絡会」は、久しぶりの会議を開き、川内原発再稼働反対に向けた行動を討論、決定した。

主要決定事項：

- ① 「ストップ川内原発再稼働！8.31九州・鹿児島川内行動」にバス1台で参加
- ② 「ストップ川内原発再稼働！9.28全国集会」にバス1台で参加
- ③ 9月6日(土)「川内原発再稼働を考える公開討論会」を鹿児島県民交流センターで開催

次回連絡会は、8月22日(金)、金曜行動終了後(19:30)生涯学習総合センターで開催。



【さよなら原発北九州連絡会の様子】

福岡県社会保障推進協議会緊急学習会



【講師の伊藤周平氏】

8月2日、県社保協が伊藤周平氏(鹿児島大学法科大学院教授)を招き緊急学習会を開催した。「安倍政権の社会保障改革と運動の課題」と題して、2時間半の講演。消費税から医療・介護改革案の問題点を解説し、最後は市民運動の課題を提起した。

なお、第42回中央社保学校は、9月25日(木)～27日(土)、岩手花巻温泉で開催される。

2014年度北九州革新懇第1回世話人会

8月4日、生涯学習総合センターで北九州革新懇第1回世話人会が行われた。27名の世話人のうち7名の参加でやや寂しい世話人会であったが活発な討議が行われた。

各地区革新懇の活動報告を行い、活発な活動が行われていることを確認した。

8月23日(土)14時から生涯学習総合センターでフリージャーナリストの末浪靖司さんと呼んで「米秘密文書に見る、憲法9条骨抜き仕掛け」と題した学習会を参加者100名を目標に行うことを確認した。

また、9月5日に沖縄の米軍基地を題材とした映画「標的の村」の試写会を行い、北九州革新懇としても上映に前向きに検討することを確認した。



【北九州革新懇世話人会の様子】